



2024年7月12日

各位

会社名 黒谷株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒谷 暁
(コード番号 3168 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員社長室長
兼 財務部・総務部管掌 黒谷 昌輝
(TEL 0766-84-0001)

2024年8月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年7月12日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2023年10月13日に公表いたしました2024年8月期(2023年9月1日~2024年8月31日)の連結業績予想数値を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 2024年8月期通期連結業績予想の修正(2023年9月1日~2024年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 72,917	百万円 634	百万円 454	百万円 320	円 銭 22.65
今回修正予想(B)	82,128	2,271	1,925	1,080	76.52
増減額(B-A)	9,211	1,637	1,471	760	
増減率(%)	12.6%	258.2%	324.0%	237.5%	
(ご参考)前期実績 (2023年8月期)	84,594	532	227	170	12.03

2. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかな景気の回復基調にあるものの各国の金融引き締め政策に伴う減速懸念や中国の景気回復遅れなどによりペースは鈍化しました。

このような外部環境のなか、当社グループの主力取扱商品である銅の価格が顕著な動きを見せています。特に、ロンドン金属取引所の銅のCash価格平均が5月に10,129ドル、銅建値では円安の影響もあり一時1,750円/kgと、いずれも過去最高値を更新しました。この価格上昇の背景には中国製錬会社の減産合意報道を受けた供給不足感と、DX(デジタルトランスフォーメーション)や脱炭素関連での銅の需要増の期待があります。

当社グループにおいては、海外からの調達を増やす、Eスクラップなど新たな取扱品目を増やすなどの方策を取りましたが、価格上昇に伴い供給環境が厳しくなった結果、昨年比13.4%減の販売量となりました。一方、不採算案件の見直しを行うことで、売上高営業利益率が2.2%向上した結果、経常利益ベースで11億82百万円の増加となりました。

この第3四半期の好業績を踏まえ、2023年10月13日に公表いたしました通期の連結業績予想を見直し、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益とも上方修正いたします。

なお、今後も今回公表の業績予想との対比において業績予想の修正を行う必要が生じた場合は、速やかに修正業績予想の開示を行うことといたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上